

3月定例所長会見における発電所長挨拶内容

所長の横村でございます。

明日3月11日で福島第一原子力発電所の事故から丸5年となります。未だ、福島県の皆さま、新潟県の皆さま、そして広く社会の皆さまに、大変なご迷惑とご心配をおかけし続けておりますことを、あらためて心よりお詫び申し上げます。

本日、私からは3点お話しをさせていただきます。

まず始めに、先月24日に発表させていただきました炉心溶融の判断に係る公表の件についてです。

本件につきましては、福島事故時における通報対応、ならびに新潟県技術委員会へのご説明など、地域の皆さまにご心配をおかけしておりますことを、改めて、お詫び申し上げます。

今後、当時の通報・報告の内容等について、第三者検証委員会にて調査・検証を進めていただくこととなっておりますので、結果がまとまった段階で、あらためてご報告させていただきます。

いずれにしましても、当発電所におきましては、福島第一原子力発電所の事故の反省と教訓を踏まえ、様々な訓練を通じ、通報を含めた対応が確実に行なえるように取り組み、有事の際の対応に万全を期してまいります。

次に、3.11所員集会の開催についてです。

東日本大震災から5年を迎えるにあたり、明日、発電所内において所員集会を開催いたします。この集会は、事故やその後の5年間の取り組みについて振り返り、再生の原点は福島にあることを心に

刻む日と位置付け、毎年3月11日に行っているものです。当日は、震災でお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表し、発災時刻にあわせて黙祷を捧げるとともに、私から所員へ訓辞を行う予定としております。

当発電所では、この5年間、あのような事故を二度と起こしてはならないという強い決意をもって、協力企業と思いを一つに、発電所の安全対策に取り組んでまいりました。

集会後には、昨年同様、節目の日として総合訓練を行うこととしております。これまでも繰り返し訓練を重ねてきておりますが、あらためて自身の振る舞いを振り返る機会にしたいと考えております。

最後に、発電所内の安全対策の取り組み状況についてです。

震災以降、安全対策として発電所構内の高台にガスタービン発電機を3台設置しておりますが、更なる安全性・信頼性向上の観点から、現在の設置場所から分散配置し、さらに1台を追加設置することといたしました。

追加設置後には、1～4号機側の海拔約21mの高台に2台、7号機プラント周辺に2台が配備されることとなり、電源の信頼性のさらなる向上を図れるものと考えております。

現在も、発電所内では様々な安全対策に取り組んでおりますが、今回のように、既に対策を講じている設備についても更なる安全性の向上に資する改善や改良ができないか、そうした視点をもって今後も取り組み、より一層の発電所の安全性の向上に努めてまいります。

本日、私からは以上です。

以上